

北海道ぎょれん広報



なみまるくん



1

2014
No.303

[うみ・なかま コミュニケーション]

北海道
ぎょれん



特集

海・ひと・夢 スペシャル 新春 会長インタビュー
北海道昆布漁業に関する懇談会

海ひと夢スペシャル

新春会長インタビュー

笑顔を絶やさず前向きに



川崎 会長

明けましておめでとうございます。
新年にあたり、川崎会長に
昨年を振り返り、新年に向けた
お話を伺いました。

[うみ・なかま コミュニケーション]

なみまるくん

北海道ぎょれん広報誌
Hokkaido Gyoren Magazine
January 2014 No.303

1

01 海・ひと・夢 スペシャル
新春 会長インタビュー

04 新春企画 ゑれん常勤役員
新春メッセージ

06 浜の家族物語
船泊漁協／道場 敦さん ご家族

07 頭すっきり!! ブレイクタイム

08 特集
北海道昆布漁業に関する懇談会

12 なみまるインフォメーション

14 目指せ! 消費拡大
宣伝活動NOW

15 大漁祈願!
浜のほっとニュース

16 協同の力でコスト削減
系統ブランド資材紹介コーナー

17 みなさんのお便りでつくるページ
なみまる おたより箱

表紙の写真
船泊漁協／道場 敦さんご家族です。



本格的な冬を迎えた日本海

「北海道」のブランド力を実感しました

6月にぎよれんの会長に就任して、全道の浜を廻り、道外や海外へも出張しました。その時に強く感じたのは、「北海道ブランド」の力です。秋鮭やほたて、昆布に「北海道」の名が付くことで非常にインパクトがあると、全国・海外のスーパードラッグや商社の皆さんに伺った意見からも、実感することができました。「北海道」を前面に打ち出した販売戦略や、もっと消費者の皆さんの身近なところまで道産水産物をお届けできるような流通・販売体制の確立がますます必要だと感じています。

国の方針と浜の進むべき道は合致しています

国が掲げる「6次産業化※」と「グローバル化」は、まさに北海道の浜が進むべき道と合致しています。6次産業化では、ぎよれんが「北海道ブランド」の水産物を全国や全世界へしっかりと流通させるシステムを作っていくこ



守るべきものを守ったなかでの交渉を政府に働きかけます

TPPについては、日本は自由貿易国ですから、垣根を低くしたり、規制を緩和することも必要な時代になったと思います。しかし、一次産業は工業などと違い、自然の中でその恵みを得るだけ、日本の皆さんに食糧を供給するための努力をしています。ただ安ければいいからと、全ての食糧を外国に任せるのは無理があります。守るべきものは守ったなかで、交渉が行われるよう、政府に働きかけていきます。

また、昨年の原油高騰対策については、円安による原油価格の上昇対策を

とが大切です。またグローバル化の過程では、浜の皆さんが作り育てたもの、あるいは獲ってきたものを世界中の人たちに食べて喜んでもらうことができます。昨年、和食が世界文化遺産に登録されました。これも大きなチャンスです。国の方針に沿って、北海道の浜も「6次産業化」と「グローバル化」へ大きく舵を切っていくべき、千載一遇の機会が今だと思っています。

一方で昨年は、韓国政府により水産物等の禁輸措置が取られる事態となりました。今年も原発事故による風評被害の払拭と道産水産物が安全で安心なものだと各国に理解してもらえよう、働きかけを続けていきます。

※6次産業化：農林水産省が進める、農山漁村の活性化のため、地域の第一次産業とこれに関連する第二次、第三次産業（加工・販売等）に関する事業の融合等により地域ビジネスの展開と新たな業態の創出を行う取り組み。

栽培漁業と一体で取り組んでいきます

昨年の本道漁業は、秋鮭の水揚量が依然低水準ながら前年を上回り、ぶり

真っ先に行いましたが、LEDを使った集魚灯を導入するなど漁業者自らの改革や構造的な改革が本来的には必要だと思っています。例えば、自動車には当たり前のようにある省エネ型やハイブリット型の漁船やエンジンの開発を国や船舶エンジンメーカーなどと協力して進めることも方法の一つだと思います。

海獣対策についても引き続き働きかけます

年々海獣による被害が深刻化しています。かつてエゾシカがまだここまで増えていなかった頃、山で作物を食い荒らしたり、木の皮まで食べてしまうという状況に、山の皆さんから早く駆除をして欲しいとの声が上がりました。しかし、鳥獣保護の観点で駆除がされなかったため、数が増えて手の施しようもないほどに対策費用が膨らんでいます。海獣対策も一緒だと思っています。何年も声を上げ続け、昨年の全道漁協組合長会議でも決議しています。今はまさに海獣の海の空いているスペース

の来遊、ほたての浜値上昇など明るい面もありました。一方、昆布は過去最低の生産にとどまったほか、さんまとこの水揚量も減少しました。このたび私は、栽培漁業振興公社の会長も仰せつかりましたが、栽培漁業をもっと活発にし、再生産や増殖のため大いに活用していく必要があると考えています。ぎよれんの事業と一体で、資源を増やし、獲って、そして販売する一連の体制を作りたいと思っています。これまでぎよれんは増産や栽培漁業については漁政活動による後押しをしてきました。これからは、浜に近い各産地支店を含めて、もっと積極的に増産・増産に携わっていきます。

自然と共に生きる我々は、自然の変化と共に漁業も変化させることが大切です。増産・増産に力を注いでいけば、漁獲量や魚価などにおける浜格差の問題も良い方向へ向かうはずです。過去の大変な時期を乗り越えた今のオホーツクは、他の地域にとっても良いお手本です。国や道の協力をいただきながら、その地域に合った水産物を確保するために、ぎよれんも尽力していきます。

笑顔をやさしく朗らかに前向きに

を人間が使わせてもらっているような状況で、人間の生活が脅かされています。国には引き続き頭数を管理する制度を取り入れるようにしっかりと働きかけていきます。

今年、力を入れていくべきことに人材育成があります。これは浜ももちろん、ぎよれんももちろんです。人が育たないと組織は衰退します。浜の皆さんと一緒に、ぎよれんの職員も海と生き、海と共存していくために力を注いでいてほしいと思います。浜を背負っているという自覚を持って働ける職員を育てていきたいと思っています。

私の願いは「笑顔のある水産・町づくり」です。自然の中で営む漁業は、良い時ばかりではなく、苦しいこともあると思います。それでもやはり、笑顔をやさしく朗らかに前向きに進んでいく方がやりがいがあると思います。1年間事故無く、そして明るい北海道水産界となるように願っています。

新春メッセージ

新年にあたり、ぎょれん常勤役員より、皆様へのメッセージをご紹介します。



常務 崎出 弘和

昨年を振り返って

ホタテの成長を突然変える自然の力の凄さを改めて知った年でした。歩留り、生産量、サイズなどの突然の変化は、流通に混乱を起こすものですが、様々な苦勞を強いられる面はあったものの円滑に流通を進めることが出来た年であったと思います。

新年にあたっての抱負、メッセージ

今や世界商品となった道産ホタテの流通は、これからますます世界経済の動きに注意を払わなければなりません。当然ながら厳しい局面もあります。常に、この変化に対応出来る流通対策を念頭に置き、ホタテ事業に取り組みたいと思います。



常務 本田 勝実

昨年を振り返って

昆布が大減産となり、どのような価格で流通させていくかということに、神経を使いました。

新年にあたっての抱負、メッセージ

北海道全体の昆布の生産回復が最大の課題です。そのための方策を生産者の皆さんはもとより、行政機関・研究機関の知恵を結集させ、具体的に進めることが今年の目標です。また、燃油の高騰対策をぎょれん・系統機関の総力を挙げて取り組むのはもちろんこと、購買事業として安定供給体制を継続維持していきます。



常務 本間 靖敏

昨年を振り返って

昨年は、地球海洋環境の変化が、良くも悪くも各種漁業に大きな影響を及ぼし、北海道の中でも特に地域間漁業の格差が顕著になった年でした。

新年にあたっての抱負、メッセージ

今年は、水産資源増大対策としての栽培漁業への新たな挑戦と燃油高騰対策としてのセーフティーネットの拡充強化、TPP等水産物貿易自由化への対応をしっかりと行います。

また、「和食」が世界遺産になったことで日本の食文化、特に道産魚介類の魚食普及（寿司、刺身、干し魚、干貝、飯寿司、魚漬け、昆布だし等）を広めていきたいと思っています。

浜の皆さんが笑顔で漁業をやっていてよかったなと言えるような年になるように、系統一丸となって、力を合わせて頑張ってください。



常任監事 水野 秀郎

昨年を振り返って

政治・経済はもちろん、天候も変化が大きく、漁業環境も予測が難しい不透明で混沌とした年でした。本会総体としては、新体制の下、様々な事例に真摯に対応が図られ、成績もまずまずの年でしたが、一方で取り巻く環境の変化も激しく、浜の生産格差や漁業資源対策など課題が鮮明となった年でもあり、次代に北海道の浜を引き継ぐため、監査の立場で、漁協系統の理念を再認識した年でもありました。

新年にあたっての抱負、メッセージ

今年は「午」年。物事が成熟して折り返しに入る年だそうです。世の中が変化し革新の動きに入る年とも言われており、全道の漁業系統に携わる一人一人が希望ある未来に飛翔できる年となる様、漁協系統の理念を再認識の上、監査の芯に据え、おれないことを大切にしながら、引き続き「厳しさの中に暖かみのある監査」を心がけていきたいと思っています。



副会長 西 英司

昨年を振り返って

役員改選があり川崎会長を船長とする新体制船出の年となりました。アベノミクスによる景気回復への期待が高まった一方で円安誘導政策により燃油高騰が浜を襲い、原発風評被害の影響で韓国向け助宗の輸出が激減、越年となったTPP交渉問題等に加えて資源回復対策への取り組み等、振り返れば様々な課題に直面した一年でした。

新年にあたっての抱負、メッセージ

何はともあれ景気回復が軌道に乗り地方まで浸透すること、そして水産物消費が増加し、すべての浜が大漁で活気づく明るい年になることを期待します。

グローバル化が一段と進んでいます。第50回全道組合長会議で決議された「強い北海道漁業の確立」を旗印に、浜の皆さんとの連帯をさらに強化し立ち足る課題を克服していく決意です。今年も「協同」の旗のもと力を合わせて邁進しましょう。



専務 佐藤 忠則

あけましておめでとうございます。

昨年は一昨年から的大幅な円安経済の中で、北海道の浜においても輸出の促進で恩恵を受けた地域と、燃油高で生産コストが上昇し経費増に苦しんだ地域があり、さらに地域の格差の広がりを見せた年でした。

年末には漁業経営コスト対策の強化が補正予算化されましたが、TPPはまだまだ流動的であり、今年度も気持ちを引き締めて行かなければと思っています。どうぞ今年も宜しくお願いいたします。



常務 重岡 徳次

昨年を振り返って

政権交代に伴うアベノミクス提唱により、景気回復を大いに期待しましたが、為替が円安により、道産水産物は海外への輸出が増大し、魚価は安定した反面、輸入に依存せざるを得ない燃油の慢性的な高騰が漁船漁業を主体に経営面で多大なる障害となりました。また、地球温暖化等の影響により、昆布・さんま・たこ等は生産量が低落し、今後の水産資源の維持・管理の改善がさらに浮き彫りにされた1年でした。

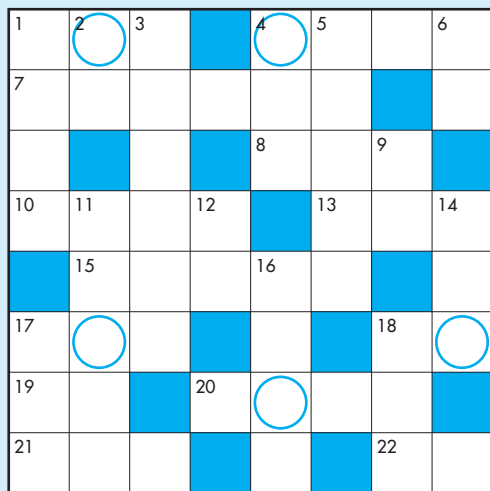
新年にあたっての抱負、メッセージ

「和食」がユネスコの無形文化遺産に登録されました。「食と観光」の北海道は、今や『日本の食糧基地』から『世界の食糧基地』となるのは間違いありません。国際的に放射能汚染の風評被害が払拭できない現状を踏まえ、一日も早く、欧米HACCP・エコラベル認証の取得を目指したい。

今年は午年！ 100万馬力で、役職員一人一人が強いリーダーシップと迅速な行動力で邁進します。

クロスワードパズル

次のクロスワードを完成させ、○印に当たる言葉をうまく並べてください。ゆく年を振り返り、心静かに新たな年を迎える年末年始。2014年が良い一年になるように、神社仏閣へお参りに出掛けるのも良いですね。



○印に当たる言葉を
うまく並べてください。

解答 となります。

くわしい応募方法は、17ページをご覧ください。
抽選で5名様に図書カードをプレゼントします。

12月号の解答と当選者									
オオソウジ									
オ	カ	ラ	タイ	ン	ウ				
ク	ジ	カイ	チ	リ					
ノ	ウ	ギ	ヨ	ウ	ボ				
マ	ナ	ウ	イ	ロ	の				
カ	ケ	シ	ク	ス	シ				
オ	イ	コ	ウ	キ	ア	ッ			
サ	カ	ル	ー	ラ					
ケ	ン	ズ	イ	シ	テ	ラ			

12月号の解答と当選者
オオソウジ

(苫前町) 鎌田 節雄さん
(湧別町) 斉藤 貴子さん
(釧路町) 佐藤 佳織さん
(えりも町) 吉田 洋子さん
(厚岸町) 竹中 三男さん

間違い
さがし

間違いは5つです。

※右と左の絵には、5か所の異なる
ところがあります。
さあ、見つけてください。
(印刷のズレや汚れは関係
ありません。)



※答えは17ページにあります。

表紙に登場いただいたご家族を紹介いたします。

船泊漁協 道場さんご家族

今月の
浜の家族
物語



【道場さんご一家】 道場 敦さん(34歳)、夕香子さん(34歳)、快くん(8歳)、椿ちゃん(5歳) ※敦さんのご両親蔵さんと富子さんと一緒に

「浜の家族物語」では、「なみまるくん」の表紙に
登場いただいたご家族を紹介します。今回は、船泊
漁協の道場さんご一家です。

頑張った分大漁するときもあるのが魅力

礼文島を離れて稚内商工高校に進学した後、札幌
で福祉の専門学校に学び、介護の仕事に就いた敦
さん。24歳で礼文島に戻り1年後に組合員になりま
した。実家で主にうに、のな、昆布、なまこなど
を採り、冬には知り合いのたら刺し網の船に乗っ
ています。「小さい時は特に、跡を継ぎたいとは思
っていませんでした。」という敦さんですが、社会
に出て働き始めて、漁師がやりたくなると教えて
くれました。

沖に行って漁をするのがとても好きだという敦
さんは、「昆布の選葉や製品づくりは大変ですね。」
と話します。父と二人、それぞれ2艘の機舟で沖に
出る道場家。自分が一生懸命頑張った分、大漁する
ときもあるのが漁師の醍醐味と教えてくれました。
今後の目標を聞くと「だんだん減ってきているなま
この資源が心配。将来的に資源を増やすための試
みを仲間と一緒にしたいですね。」と話してくれま
した。

家族みんなが元気で自分は生涯現役を貫 きたい

札幌で敦さんと知り合った夕香子さん。結婚を機に
初めて礼文島に来ました。今では昆布干しやなまこ
の出荷などの力仕事でも敦さんをサポートしています。
「昆布が全て終わった時は達成感がありますね。」と
教えてくれました。長男の快くんは小学2年生。遊び
や工作でその想像力をいかんなく発揮して、自分の
思ったとおりに即実行してみる行動派。礼文町内の小
学生が参加する料理クラブや理科クラブにも積極的に
参加しています。長女の椿ちゃんは保育園の年中組。
何をするにも一生懸命で、
昆布干しもよく手伝ってく
れるそうです。

今後の夢は、「家族のた
めに頑張って家を建てた
い。」と笑顔で話す敦さん。
「まずは家族みんなが健康
なこと。そして漁師の仕
事は生涯現役でいたい
ですね。」と、今の仕事を
末永く頑張っていきたい
という強い決意を語って
くれました。





2万トンの増産に向けて 北海道昆布漁業に関する懇談会

●出席者 ※敬称略

＜北海道昆布漁業振興協会＞

会長 北海道漁業協同組合連合会

代表理事会長 川崎 一好

副会長 えさん漁業協同組合

代表理事組合長 高島 武俊

副会長 えりも漁業協同組合

代表理事組合長 平野 正男

副会長 函舞漁業協同組合

代表理事組合長 竹内 一義

南かやべ漁業協同組合

代表理事組合長 鎌田 光夫

戸井漁業協同組合 代表理事組合長 森 祐

ひだか漁業協同組合 副組合長理事 石井 善広

日高中央漁業協同組合 副組合長理事 向井 進

釧路市東部漁業協同組合

代表理事組合長 加藤 昌俊

散布漁業協同組合 代表理事組合長 秋森 新一

函舞漁業協同組合 昆布漁業部副会長 柿本 康弘

羅臼漁業協同組合 養殖漁業部会長 相木 茂樹

宗谷漁業協同組合 代表理事組合長 山川 憲治

香深漁業協同組合 代表理事組合長 和泉 優

＜北海道立総合研究機構＞

中央水産試験場 資源増殖部 部長 蔵田 護

函館水産試験場 調査研究部 研究主幹 赤池 章一

釧路水産試験場 調査研究部 研究職員 合田 浩朗

稚内水産試験場 調査研究部 主査 川井 唯史

＜北海道大学＞

北方生物圏フィールド科学センター 准教授 四ツ倉典滋

＜北海道漁業協同組合連合会＞

代表理事副会長 西 英司

代表理事専務 佐藤 忠則

代表理事常務 本田 勝実

北海道昆布漁業振興協会では、今年度から昆布専門委員会の答申に基づき、北海道立総合研究機構による増産に向けた各種研究を開始しています。11月21日（木）、札幌で生産者の代表の皆さんと研究者が懇談会を行い、更なる研究の充実、増産促進を目指して情報交換しました。

昆布の増殖・増産について生産者と研究機関が意見交換

川崎会長の挨拶の後、研究機関の皆さんから北海道昆布に関する研究について発表が行われ、ぎよれん本田常務を進行役に懇談会が始まりました。

本田…今年から始まった各研究を踏まえ、生産者の皆さんからのノウハウを伺いながら、意見交換することで良い知恵が出てくるのではないかと考えています。今回は「増産」を主なテーマにお願いしたいと思います。まずは鎌田組合長に、現在取り組んでいることや増産の手法についてお話しただけですか？



鎌田組合長
(南かやべ漁協)

鎌田…全盛時代は3万トンあった水揚げが今年1万5千トンと、浜も危機感を持っています。当組合は合併11年目を迎え、今は地元函館市と共同で9万㎡から10万㎡の雑海藻駆除を行っています。これを6つの本支所に分けて行い、駆除後の漁場に天然昆布の母藻を投入しています。効果はありますが、まだ量が足りないとも思っています。もう少し行政のお力も借りたいというのが本音です。

天然昆布に従事する漁業者は75歳以上の方も多く、

きますが、また雑海藻が生えての繰り返し。自力では資金もかかるので、万遍なく出来ないわけで、なんとか行政のお力も借りながらもう少し広範囲に駆除できればいいと思いますね。

本田…宗谷漁協の山川組合長は昔、発破をして、今は岩盤をはがしているということですが、



山川組合長
(宗谷漁協)

山川…雑海藻が付くのは大体3月末から4月。宗谷では7月15日から20日ごろ昆布を採ることにしていますが、我々の代になつてからもっと早く採っています。早く採ると根が固く、岩にへばりついていきます。それをバリバリはがすと、岩を起すことになるのが良いと考え、7月7日くらいから採ることにしました。昆布は一度に何十駄も採ろうという商売ではありません。1日せいぜい3駄から5駄。普段は、若い人はほたてやたこに行つて、昆布は高齢な生産者が多い。一気に採るわけではないから、早く採って岩を開けるとそこに新しい岩が出てきます。

昨年は、ちょうど今くらいの時期に浜に大量の昆布が寄つてました。高水温が原因なのか。高水温は昆布の敵です。新聞で、昆布は低温に強い生物だとこれも地球温暖化の影響かなと思います。

本田…雑海藻駆除をしなくては駄目だということですが皆さん一致していると思います。方法はそれぞれ

元気なうちは少しでも天然昆布を水揚げしたいと思っています。しかし今年は例年の3分の1以下とかつてない大減産です。養殖昆布は、若干量が減ってきていますが、総体で3000トンから3500トンくらいという状況です。北海道の海が天然昆布で埋もれるくらい状況になつてもうらえれと思います。

本田…投石を行っている地区もかなりあるようですが、日高中央漁協の向井副組合長はいかがですか。



向井副組合長理事
(日高中央漁協)

向井…天然昆布の海面が少ないため、もともと昆布の生えていない場所を中心に投石を行っていました。2、3年は非常にうまく付きましたが、その2、3年後には雑海藻が生えました。またここ3、4年は、雑海藻の種類が昔と変わりました。雑海藻が昆布を困らせてしまっために、やがて昆布が付かなくなるのではないかと考えています。自己負担に近い形で雑海藻駆除をしますので、一度行ったら次は他のところをするしかありません。かなりの広範囲で、沿岸構造改善事業による投石もしましたが、しばらくしたら、我々が昆布を採り始めたころと違う雑海藻が岩に付き昆布が生えなくなります。掃除したら何年かは昆布が付

ですね。その方法をご発言ください。



高島組合長
(えさん漁協)

高島…当組合は5地区ありまして、うち2地区で組合員自らが、昆布採取に使う「まつか」で雑海藻駆除をしています。ここ数年はがごめ昆布の価格が高値で推移していることからダイバーを使ってがごめ昆布の裏側に「糞斑」の出ているものを採取し台車に吊るして水切りし、新聞紙に挟んで一晩寝かせます。翌日玉ねぎの袋に入れて、再びダイバーが雑海藻駆除したところにつけて胞子を岩場に付着させています。

私たちは3種類の昆布を採取しています。三石昆布と黒口浜の真昆布、そしてがごめ昆布です。三石昆布や真昆布と比較して、がごめ昆布は生産量が安定しておりますので一定の効果が出ていると感じています。26年度も同じ方法を全地区で実施する予定となっています。



竹内組合長
(函舞漁協)

竹内…貝殻島区域はロシアとの交渉により採取量が決まります。12%を雑海藻駆除に当て、人による人海戦術で行っています。今年は特に雑海藻が多く、地区懇談会に行つても、なんとか機械を持ち込めないかと言われます。

2万トンの増産に向けて 北海道昆布漁業に関する懇談会

ので、磯焼けに繋がらないよう密度を抑えてバランスを取らなくてはなりません。組合では、潜水でうにを10トンから20トン程採って違う場所に移す漁場管理をしています。以前は、投石やユニボもして



相木養殖漁業部会長
(羅臼漁協)

相木…今年、羅臼地区は天然も養殖も稀に見る大減産となつてしまいました。うにの育つところと昆布が育つところが一緒な

いでしています。最近、定期的に1月から2月で確立しつつあり、生産者が行っています。



秋森組合長
(散布漁協)

秋森…同じ釧路地区で工法は変わりますが、1月から2月に雑海藻駆除をします。およそ40mくらいを、3年サイクルくら

指導して、少しでも次の年に残すようにしています。今年は、ある程度の量を確保できましたね。



加藤組合長
(釧路市東部漁協)

月にとても多くの水昆布が出ます。雑海藻がついて耐え切れなくて抜けたのかと思います。なるべく若い昆布を採らないように



柿本昆布漁業部副会長
(歯舞漁協)

昔は山に結構木がありました。今は酪農家が離農してしまい、山は坊主です。木が生え、その下の葉や草から鉄分が流れてきて昆布の栄養になりました。それが無くなって天然昆布が無くなったのだと思います。昆布に良いのは鉄分です。それを養殖事業にも活用したらもっと良くなると思います。

柿本…歯舞地区は雑海藻駆除無くしてありえませんが、自然任せで採取する時代では無くなったと言えます。また、渚の浸食が

過去何度もロシアと交渉してきましたが、機械動力の持ちこみは許可されていません。また、操業期間が限られているため、例え動力を持ち込んで前浜と違い、1年間昆布が生えるまで待たなくてはなりません。将来、北方領土の返還が叶えば、前浜と同じく動力を持ち込み雑海藻駆除が出来ますが、できないのが現実です。操業期間は、貝殻島が6月1日から9月30日まで、前浜は7月10日から10月31日までです。貝殻島の皿を見ながら前浜と併用で行っています。10月31日が終わってから漁業者自らで、前浜でチェーン振りなどによる雑海藻駆除をしています。

削ったり。発破は磯周りでたこを専業でやっている人からの反対でやめました。発破はうにやあわびにも影響が出て、最終的に繁茂させるために大分お金がかかったと思います。それから礼文町での水圧による雑海藻駆除もありましたが、さほど効果が無く、現在に至ります。



和泉組合長
(香深漁協)

和泉…私たちも皆さんがしてきたようなことを行ってきました。チェーン振りもしてきま

ましたが、今は潜水のうに駆除だけです。私は養殖昆布もしており、5年前から養殖昆布の実態調査をしようと部会と羅臼組合と普及所で進め、3年間行いました。今は組合独自で調査を継続しています。成長期の根腐れについて、深さを調整したり、頭を10mくらい下がったところで切ってみたり。私の経験からすると、8月末を目処に切ると、再生がうまくいくのではないかと思います。組合全体ではないですが、何人かしてみても、好感度ではあります。昆布に刺激を与えないと駄目だと思っています。

最近、羅臼は流水の勢いが緩んでおり、シャベット状の柔らかい氷や小さい氷の玉が来る感じですが、その影響もあるのではないのでしょうか。



森組合長
(戸井漁協)

森…当組合は3つの組合が合併しています。それぞれに地域性があって、岩場と砂で海底の違いが多い地域です。小安地区と本

その後、ダイナマイトを使った雑海藻駆除が広まったわけですが、国や道がやる場合には新しい漁場を作るという発想だから、岩の表面を剥離するのが条件になっています。当時のダイナマイトは3009から3509の大きいもので岩の表面を剥離しました。私はこれを大きな間違いだと当時から思っていました。私たちは1009のダイナマイトを使っています。そうすると中心部分ははがれますが、周りの雑海藻だけを飛ばしてほとんど岩が剥離しません。限りなく岩の表面を剥離しない、負荷をかけないというのが、私たちの考え方です。ユニボを使った方法は、岩場に亀裂が入るんですよ。漁場に負荷をかける方法でなくてはだめだと常々言っています。研究機関で研究している種を蒔く方法にしても、限りなく漁場の表面を剥離しない、傷つけない方法が絶対大事になると思います。



平野組合長
(えりも漁協)

平野…雑海藻駆除はこれまで、投石に始まって、人の力でねじり棒を使い根っこを起すなど様々な方法でやってきました。

所地区の一部は砂と小砂利の多い地域で、そこから南は岩盤が固い。投石を何年もやってきた地域と、始めて5、6年の地域があり、雑海藻駆除をどのようにしたらいいのか検討・研究しながら、生産者が漁船で出来る方法で何とかしてみようかと相談しています。昆布は2年生ですから、2年経てば枯れますが、雑海藻はどうなんですか。枯れないのか、一旦枯れて新しく付着するのでしょうか。その辺で駆除する時期、母藻を散布する時期はいつが一番良いのかという悩みを持っています。母藻を散布することで繁茂するのは間違いないだろうと思います、今年から始めました。



石井副組合長理事
(ひだか漁協)

石井…日高の三石地区は、日高中央漁協と同じで雑海藻駆除は春に行い、昆布が終わってから、補助をもらいながら全船揃ってチェーン引きをします。また、生産者がユニボに乗り、干潮になってからひたひた作業をしています。

加藤…私たちは7月1日から成昆布を採るようになっており、お盆過ぎになると裾枯れ等があるので早いうちに採っています。ただ若い昆布を採らないように指導しています。胞子は若い昆布から出るのか、成昆布から出るのかを教えてください。

ランクトンも運んでくれました。しかし、それが無くなったことで、水温が高く昆布が成長しすぎると思います。成長過程において、根っこに栄養が行き届かず、頭ばかり大きくなって根っこが細いため耐えられないのかなとも思います。利尻・礼文、稚内、道東や他の地域の昆布の根の大きさも比較研究してもらいたいと思っています。

漁場は昔と違い、自然の浜が少なくなり、自然と磯に寄ってきていた昆布が減った要因になっているかと思っています。昔は養殖施設にはかなり大きい鉄製のアンカーを使っていました。それが、4トンブロックが使われるようになり、鉄分が無くなって昆布が少なくなった気がします。昆布の成長には自然の鉄分ではなくて駄目なのか、人工の鉄製アンカーやチェーンからの鉄分でも良いのか。今年も島はわかめ以外が繁茂しなくてひどいです。

昆布増産に向けて種苗投入による実証実験が行われています

今回、研究機関の皆さんから示された研究内容のうち、北大の四ツ倉准教授の研究は、正副会長会議での決定を受け、11月から日高、釧路、根室で実証実験が行われています。事前に採取した昆布から人工的に種苗を採集し、雑海藻駆除後の岩盤に種苗を植え付け、昆布資源の増産を図るものです。来春には着生状況がわかる予定です。また来年にはどれだけ成長したか、2年後には2年生昆布が収穫できるかというところまで調査し、雑海藻駆除と種苗投入による効率的造成法の確立を目指していきます。

04

平成25年度 水産関係補正予算

556億円が閣議決定、 漁業コスト構造改革対策事業に228億円

12月12日(木)、平成25年度の補正予算が閣議決定され、水産関係補正予算として556億円が閣議決定されました。このうち、新たに漁業コストの低減対策として「漁業コスト構造改革対策事業」228億円が予算措置され、省燃油活動推進事業(第2弾の燃油高騰緊急対策)、省エネ機器等導入推進事業(LED集魚灯、省エネ型エンジン、昆布乾燥機などの機器導入の支援)、漁業構造改革総合対策事業(省エネ型漁船導入の支援)など、以前より浜から強い要望が寄せられていた事業が設けられました。この他、輸出促進に係る施設改修支援事業が平成26年度予算より前倒しされました。12月17日(火)には、札幌市のかでる2・7において、水産庁が主催して「新たな経済対策策定に伴う水産関連施策に関する説明会」が開催され、漁業コストの低減対策事業についての概要が説明されました。制度の利用に関する詳細については、今後各漁協を通じて周知していきます。

水産関係補正予算の概要(総額556億円)

【漁業コスト構造改革緊急対策事業】 228億円

1. 省燃油活動推進事業 80億円
2. 省エネ機器等導入推進事業(漁業経営セーフティーネット構築事業特別対策加入者の燃油使用量に応じた活動計画に基づく支援) 28億円
3. 漁業構造改革総合対策事業(もうかる漁業沿岸版) 25億円
4. 漁業経営セーフティーネット構築事業(上記構築事業の国からの拠出金の積み増し) 95億円
5. 「浜の活力再生プラン」策定推進事業(水産業を核とした漁村地域の活力再生に必要な「具体的な取り組みを定めたプラン」を作成する際の支援) 2億円

【外国漁船総合対策】 167億円

【輸出促進・人材育成対策】 87億円

(HACCP対応のための水産加工流通施設の改修支援事業25億円を含む)

【漁港・漁村の防災・減災対策】 71億円



国に漁業経営支援対策の実現を求めて声を上げる漁業者の代表(昨年5月の「漁業経営危機突破北海道漁業代表者集会」にて)



LED集魚灯を導入したさんま棒受け網船

告知

コープさっぽろ農業賞が3年振りの開催

コープさっぽろ農業賞「漁業部門」「交流部門」の応募を受付中です

北海道の安全・安心な食を提供している生産者や、消費者との交流に取り組む生産者など、消費者が応援したくなる生産者を表彰する「コープさっぽろ農業賞」が、3年振り第9回目を開催し、現在応募を受付中です。同賞は「農業部門」のほかに「漁業部門」「交流部門」を設けており、「漁業部門」は北海道に在住の漁業を営む個人・法人および団体(生産者による加工も含む)、「交流部門」は北海道に在住する漁業者と消費者との交流を継続して行っている個人および団体であれば、自薦・他薦は問いません。

各部門の応募の締め切りは2月28日(金)(当日消印有効)です。応募の詳細については、ホームページ(taberutaisetsu-hokkaido.com)をご覧ください。

札幌市児童福祉関連施設へ水産物を寄贈

子どもたちへ秋鮭・いくら・ほたて・昆布のプレゼント

12月17日(火)、札幌市子ども未来局において、札幌市児童福祉関連施設15か所への道産水産物の寄贈が行われました。贈呈式には、ぎょれんの崎出常務が出席し、いくら醤油漬けや定塩秋鮭フィレ、冷凍ほたて貝柱、昆布巻など100万円相当の道産水産物の目録を、子ども未来局の大谷内局長に手渡しました。寄贈された品は、12月下旬に施設で暮らす子どもたちのもとへと届けられます。

この取組は、北海道秋鮭普及協議会、北海道ほたて漁業振興協会、北海道昆布漁業振興協会とぎょれんが共同で実施し、今年で21年目を迎えました。子どもたちへの良きクリスマスプレゼントとなることを関係者一堂願っています。



札幌市子ども未来局大谷内局長(右)に目録を手渡すぎょれんの崎出常務

01

ぎょれんのグループ会社「マリノサポート(株)」が社名を変更

1月から「ぎょれんマリノサポート(株)」に変わりました

ぎょれんのグループ会社「マリノサポート(株)」は、1月1日から「ぎょれんマリノサポート(株)」に社名を変更しました。

同社はぎょれんの購買事業を補完し、よりきめ細やかな漁業資材の販売を行うために平成14年に設立されました。現在は、浜の皆さんの元を1軒1軒回りながら、安くて品質の良い漁業資材を提供するための営業活動を行っています。会社設立から10年間、マリノサポート(株)としてご愛顧いただきましたが、ぎょれんグループ会社としての一層の信頼をいただくため、社名に「ぎょれん」を付け、更なる販売体制の強化を図っていくこととなりました。今後とも、「ぎょれんマリノサポート(株)」として、よろしくお願いします。

なみまるくんでは、毎号、「系統ブランド資材」をご紹介します(今月は16ページに掲載)。ぜひ、併せてご覧ください。



ぎょれんマリノサポート(株)の社員による営業活動

02

ぎょれんが全事業でISOを認証取得

全事業と全事業所においてISO14001が適用されることとなりました

11月20日(水)、ぎょれんは販売、購買、指導、利用の全事業でISO14001を認証取得しました。道内外の各支店と営業所を含むぎょれん全体で国際標準化機構(ISO)の環境規格ISO14001を認証取得。2年が経過した今年、会員に燃油の供給・輸送等を提供する稚内油槽所(稚内市)、花咲油槽所(根室市)、第3ぎょれん丸(油槽船)、魚函の管理を行うポリ函保管所(根室市)の「利用事業」についても、環境マネジメントシステムの整備を進め、認証を取得することができました。これによって、ぎょれんは全事業と全事業所においてISO14001が適用されることとなりましたが、今後も環境理念に基づき、環境負荷の低減に向けた活動を継続していきます。



ISO14001審査登録証

03

浜のほつとニュース

大漁祈願!

梶山

盛漁期を迎えた釣助宗は、資源管理の自主規制と時化模様のため、例年より遅い12月1日からの操業となりました。約50隻が着業し、1日数十～100トンほどの水揚げが続いています。韓国政府による輸入規制のあおりを受け、対韓国輸出が激減し、残念ながら浜値は前年より下がり気味です。日本海は風雪が強まる時期を迎えますが、凧良く大漁となることを期待します。

函館

10月から始まった助宗刺網漁は堅調に水揚げが続き、12月上旬で前年比2割増の約13,800トンとなっています。11月は時化が多く厳しい操業でしたが、12月に入って噴火湾に魚群が来遊。ひと頃は管内で連日1,000トン近い大漁となり浜値が下がりました。ぎょれんの助宗販売対策の効果に期待が寄せられています。来る新年が、凧良く好漁が続くことを期待します。

室蘭

胆振管内の秋鮭定置網漁が、12月13日に、昨年より1800トン程多い4,870トン処で終漁しました。助宗刺網漁は12月に入りようやく水揚げが増え始め、卵質の良い時期での水揚げ増に浜は活気づいています。生産者の皆さんの安全操業と豊漁を祈念しています。

日高

12月5日より日高東部地区で毛ガに籠漁が解禁となりました。出だしは好調で、昨年対比7割増となっています。またこの時期、管内全域でばがれい漁が盛んに行われ、多い日には管内で10トンの水揚げと漁模様は好調です。年末商材のため、浜値は12月中旬から上昇傾向です。時化が多く、思うように操業できない日々が続きますが、凧と安全操業を願っています。

釧路

徐々に寒さ厳しくなっておりますが、ばがれい刺し網、たこ漁、かに漁等、冬場の水揚げが本格化しています。資源的には順調ですが、時化が続くような出漁ができておりません。年末の書入れ時のため天候の回復と豊漁を期待するところですが、無理せず安全操業を願っています。

根室

現在、根室市内ではうにの潜水・たも採り漁が行われています。主に根室・落石地区の前浜で行われており、多い日には1,200枚ほどの上場があります。価格は前年並みで推移していますが、年末の需要期に向けて高騰する予想であり、順調な水揚げが期待されます。

北見

新年明けましておめでとうございます。当管内は底建網で豊漁だったかやかれい、また、ほたて漁も終漁し、冬本番を迎えています。一方サロマ湖内のかき漁は旬の時期を迎え順調な水揚げとなっており、これからの季節需要が高まる中、浜値、水揚量とも昨年を上回ることを期待しています。本年も各漁の安全操業と大漁を心より祈願しています。

稚内

オホーツク海地区では、3月から続いていた管内ほたて漁がついに終漁となりました。日本海地区では、かれい・たらしの刺し網漁が先月より行われていますが、時化が続き水揚げが出来ない日々が続いています。海が荒れる日が多くなっておりますが、新しい年に向けて安全操業で豊漁となることを願っています。

留萌

12月は悪天候や時化が多く、思うように操業出来ない日が続いています。11月から始まった三陸向けほたて半成貝の出荷は終盤を迎え、各浜で出荷作業が続いています。また、冬を代表する真かじかの水揚げが増えてきました。多い日で管内合計300ケース超の水揚げがあり、浜は活気づいています。年末に凧が続き、益々の豊漁と安全操業で締め括れるよう願っています。

小樽

12月に入りいかの水揚げが増えていきます。300g前後の型のいいかが釣りや定置で大漁に水揚げされ、一日10,000ケースを超える日もありました。一方、今年は平目の水揚げが少なく、単価は好調ながらも、数量で伸び悩んでいます。また、年明けからはにしん刺網漁が始まります。来年のにしんは魚体が大きめで、漁獲も例年並みの予想に、浜は期待を寄せています。

目指せ! 消費拡大

宣伝活動NOW

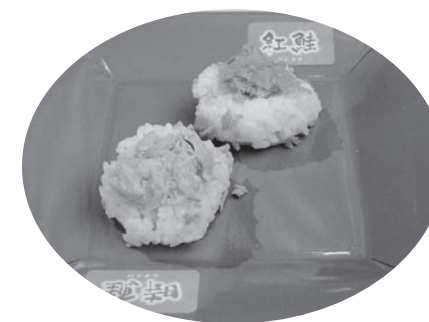
秋鮭、ほたて、昆布をはじめとした各魚種協議会とぎょれんが連携し、継続的に行っている宣伝活動。最近の話題をまとめてご紹介します。

春鮭鱒大試食会を開催しました

ぎょれんと北海道春鮭鱒普及協議会は、11月30日(土)と12月1日(日)の2日間、新千歳空港で「時鮭&紅鮭 春鮭鱒大試食会」を開催しました。年末贈答向けの需要を見込み、北海道産「時鮭」と「紅鮭」のおいしさを道民のみならず道外の方にも広くPRするのが狙いです。当日は、空港を行き交う多くの方に試食していただき、アンケートにもお答えいただきました。アンケート結果は、これからの春鮭鱒普及活動に活かしていきます。



新千歳空港国内線ターミナルの中央にある広場で開催



試食は、ご飯にのせて味わっていただきました



春鮭鱒をPRする冊子も配布

ほたてスピードレシピコンテストを開催中です

ぎょれんと北海道ほたて漁業振興協会では、ご家庭でもっと身近にほたて料理を楽しんで頂くことを目的に、消費者から「おいしくて、しかも簡単にできるレシピ」を募集する「北海道のほたてスピードレシピコンテスト」を毎年開催しています。

第4回となる今年は新たに料理雑誌「オレンジページ」とタイアップし、広く全国の読者よりオリジナルレシピを募集しています。優秀5作品は同誌面上にて発表・表彰し、広く普及させていく予定です。

○募集期間:平成25年12月2日(月)～平成26年1月7日(火)

○募集部門:①和食部門 ②洋食部門 ③中華部門

○応募方法:オレンジページnet(www.orange-page.net)から応募受付中です。



秋鮭・いくらを全国のチラシを全国配布

北海道の天然秋鮭・いからの素晴らしさを知ってもらい、もっと気軽に調理してもらうために全国に100万枚のチラシを配布します。今回は、「塩秋鮭・いくらで作れちゃう人気定番メニュー」と題して、「塩秋鮭のコロッケ」や「塩秋鮭といくらの仲良し親子丼」など6品を掲載しています。

チラシは本誌に挟み込みしていますので、ぜひご覧ください。



編集部からのお知らせ

皆様からのお便り、写真、イラストをお待ちしています!

次の①～③を明記の上、ご応募ください。抽選で5名様に図書カードをプレゼントします。

- ①なみまるおたより箱への投稿(お便り、写真、イラスト等)や、広報なみまるくん1月号への感想・ご意見など
- ②7ページのクロスワードの答え
- ③住所・氏名・年齢・電話番号

〈宛先〉1月20日までにお送りください。

(郵便) 〒060-0003
札幌市中央区北3条西7丁目1番地
北海道ぎょれん 総務企画部 広報担当
(FAX) 011(242)3543
(電子メール) info@gyoren.or.jp

※「なみまるおたより箱」には①からご紹介しします。ご応募いただいた方の個人情報は、図書カード進呈や、お便り、写真、イラスト等の掲載(氏名、年齢、市町村名)にのみ使用いたします。写真やイラストは、返却できませんのでご了承ください。

7ページの間違ひさがしの答え



編集後記

あけましておめでとうございます

飯寿司が大好きです。今は正月に限らず、早い時期から店に並ぶようになり、見るたびに買ってしまいます。ほっけにハタハタ、紅鮭、にしん等々、様々な味が楽しめるのも魅力です。この原稿を書きながら、我が家の冷凍庫には正月用の飯寿司が「たんまり」眠っているかと思うと、ついつい顔が「にんまり」してしまいます。皆さんのお正月はいかがですか? 今年も多く笑顔ある話題が届けられますように。今年もどうぞよろしくお願いいたします。(工藤)

1年分の広報誌をめくりながら、この編集後記を書いています。この号では、ここで取材させてもらったな、これを見せてもらったな、こういう話を聞かせてもらったな、この言葉に感動したななどなど、当時のことが鮮明に思い出されます。普段はなかなか振り返って物事を考える余裕がなかったように感じますが、新たな1年を始める前にここでしっかり振り返っておきたいと思います。心機一転、平成26年も走ります。本年も「広報なみまるくん」をよろしくお願いいたします。(櫻田)

みなさんのお便りで今年もスタート!

なみまるおたより箱



このたび、12月号の6ページにありまます三連合同研修大会に参加させていただきます。根室市 黒部 孝義さん 63歳

12月になると楽しみなことがあります。それはロイズのアドベントカレンダーです。日付が書いてある箱を開けると、中にチョコレートやキーホルダーが入っています。お姉ちゃんや朝に走って箱を開けに行くのが12月の楽しみです。(厚岸町 小島 史香さん 12歳)

秋あじが終わり、ししゃもが終わり、12月は毛がにの漁です。早いものです。一年があつと言う間に過ぎてしまいます。来る年は明るい年になりますように。(豊頃町 工藤 栄子さん 73歳)

高校生活もう少しで終わります。就職も決まり、今、自動車学校へ行っています。3年間下宿生活でした。お父さんお母さんにはいろいろ大変だったと思います。卒業したら自分の事は自分でするように頑張ります!(釧路町 佐藤 佳織さん 18歳)

12月になると楽しみなことがあります。それはロイズのアドベントカレンダーです。日付が書いてある箱を開けると、中にチョコレートやキーホルダーが入っています。お姉ちゃんや朝に走って箱を開けに行くのが12月の楽しみです。(厚岸町 小島 史香さん 12歳)

秋あじが終わり、ししゃもが終わり、12月は毛がにの漁です。早いものです。一年があつと言う間に過ぎてしまいます。来る年は明るい年になりますように。(豊頃町 工藤 栄子さん 73歳)

高校生活もう少しで終わります。就職も決まり、今、自動車学校へ行っています。3年間下宿生活でした。お父さんお母さんにはいろいろ大変だったと思います。卒業したら自分の事は自分でするように頑張ります!(釧路町 佐藤 佳織さん 18歳)

協同の力でコスト削減

系統ブランド資材紹介コーナー

良質で安い資材を浜に提供することを目的に、ぎょれんが自ら企画・開発をしている資材が「系統ブランド資材」です。

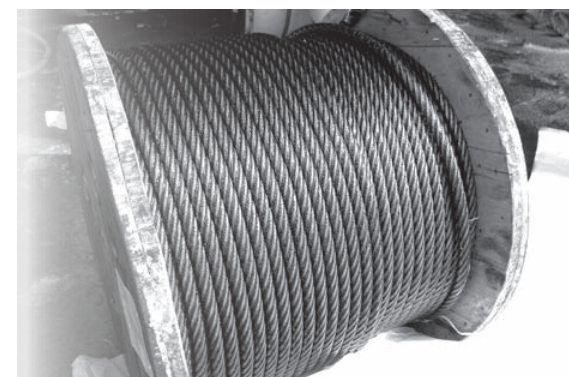
なみまるくんでは、皆様に「系統ブランド資材」の個々の商品特長をもっと知っていただくため、毎月1つの商品を詳しくご紹介しています。ぜひ、資材購入の検討に、お役立てください。

今月は 韓国産ワイヤー・国産PPロープをご紹介します!

その1 韓国産ワイヤーロープ

おすすめポイント

- さんま棒受用の取扱を行っています!
- 消耗品としての価格の安さを追求。品質とコストのバランスが良い商品です。



歯舞漁協 雄進丸 安田 知博さん

実際にご使用いただいた感想をお聞きしました!

一昨年から、サンマ棒受用に9mmを使用しています。ワンシーズンの使い捨てで、これまでは国産品を使用していましたが、ぎょれんの担当者に韓国産のぎょれんブランド資材を勧められ使用してみました。

実際使用してみたところ、数か月の使用期間では、これで十分だと思います。消耗品なので、価格の安いワイヤーは漁業コスト削減になります。ぜひ、皆さんにもお勧めしたいですね!

その2 国産「GK(くみあい・ぎょれん)スーパーロープ」

道内漁業者専用のハイスペックロープ! (PP3子)

主に定置・養殖用として浜の皆様のご意見をもとに、北海道漁業に最も適した仕様を開発しました。

おすすめポイント

- 撚りバランスを全面的に見直し、使いやすくしました。
- 耐摩耗性を更に強化!(14mm以上は複合糸を採用)



この他、各種ロープ・岩糸類も取扱しておりますのでお問い合わせください。

〈製造元〉富山県 魚津製網所

ご注文・お問い合わせは、漁協購買部へおねがいたします。

ライフジャケットは 海難防止の ベストワン

公益社団法人 北海道海難防止・水難救済センター

たこと相性抜群のさっぱりしておいしい揚げ春巻きです

たこの和風春巻き

浜のおかあさん
レシピ



今回はたこを使った「たこの和風春巻き」をご紹介します。パリパリとした食感がおいしい揚げ春巻きは、たことの相性もバッチリ！大葉の香りと梅の風味が口いっぱいに広がり、さっぱりとしてヘルシーな一品です。冷めてもおいしくいただけますので、お子さんやお父さんのお弁当に入れても喜ばれますよ。

材料 (4人分)

- | | |
|-----------------|------------|
| ・たこ足…100g | 〈付け合せ〉 |
| ・春巻きの皮…8枚 | ・キャベツ…1/4個 |
| ・にんじん…1/2本 | ・大葉…8枚 |
| ・生しいたけ…大2個 | ・レモン…8切れ |
| ・梅干し…2～3個 | ・ミニトマト…8個 |
| ・大葉…8枚 | |
| ・長ねぎ…小1本 | |
| ・サラダ油 (揚げ油) …適量 | |
| ・水溶き片栗粉…大さじ2 | |

作り方

- ① 梅干の種を除き、梅肉を包丁でたたいてペースト状にする。
- ② たこ足と生しいたけを薄切り、にんじんを細く千切り、長ねぎをみじん切りにする。
- ③ 春巻きの皮の角に大葉を一枚敷き、薄切りにしたたこ足を5切れほどのせ、①の梅肉を塗る。
- ④ 上に生しいたけ、にんじん、長ねぎをのせる。
- ⑤ 通常の春巻きと同様に具を包み、水溶き片栗粉を端に塗ってとめる。
- ⑥ サラダ油を200℃ほどに熱し、皮がカラッとなるまで揚げる。
- ⑦ 付け合せにあらかじめ千切りにしておいたキャベツ、大葉、輪切りにしたレモン、ミニトマトを添え、皿に盛り付けて出来上がり。



宗谷漁協
神 正子さん



猿払村漁協
沖野好子さん